

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 月 日

事業所名 すだちクラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	・限られたスペースを構造化して、活動ごとに場所を別けたり、身体を動かす活動は、近隣の公園を利用するようにしています。	
	2 職員の配置数は適切である	8	0	・利用人数に対して、支援スタッフと送迎スタッフのバランスを考えて配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	5	・階段の昇降時、スタッフが見守りか付き添いをしています。転落防止柵やマットを敷いています。	・一人で階段を昇降することが出来ない方でも利用出来るように、施設内を更に構造化していけるよう検討します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	1	・日頃からスタッフから出た意見をミーティングの際、振り返りをしながら改善しています。連絡会議事録等で関係スタッフに周知し、再度振り返りをしながら取り組んでいます。	・月1回のケース会議等で、意見交換をしながら、更に業務改善に繋げられるように取り組んでいきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	・電話やメール、送迎時に面談を行いながら、保護者様の意向をその都度確認させていただきま	・家族会や長期休業時の嗜好調査等で、保護者様や利用者様の意見を参考に活動計画が立案出来ればと思っています。 ・保護者様のニーズを確認しながら、サービス向上に努めてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	・年度末に一回、ホームページで公表させていただきます。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	5		・今後、実施出来るように検討中です。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		・月一回のケース会議や外部研修に積極的に参加しています。	・所内だけでなく、全職員が現場の支援に役立つ外部研修に参加出来るように計画します。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	・アセスメントシートを見直しています。複数のスタッフでアセスメントを行っています。	・アセスメントが不十分な部分もあるが、保護者様と利用者様のニーズや課題、目標を定期的に確認しながら、本人のスキルを伸ばせるような支援計画を作成してまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	・専門家による査定を行っています。	・常勤スタッフのみでアセスメントを行っているため、全職員に周知出来るよう月一回の会議や連絡会議事録に記載して全員が把握出来るようにしていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1	・立案したスタッフとその他のスタッフで検討しながら計画を立てています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		・活動をスモールステップで段階的に計画しています。利用者様の強みを活かした活動を計画しています。	・利用者様が興味を持ち、楽しく参加しやすいように取り組んでいきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1	・集団での課題が多く見られることから、個別に段階を付けて支援しています。	・活動に参加しやすいようにトークンを使用したり、見通しがもてるように事前に告知や視覚支援をしながら、参加を促しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	・余暇活動では利用者様の強みが活かせるような個別支援を行っています。	・スケジュールの中に集団で過ごす時間を設定しています。利用者様が興味を持ちながら積極的に参加出来るよう日替わりで活動を計画しています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	・支援開始までに、ミーティングで決定した内容をパート職員に議事録で周知しています。	・議事録で分かりにくい内容は、口頭で説明をするようにしています。 ・全職員を交えたミーティングが行えるよう、出勤時間を調整してまいります。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1		・その日の支援を振り返る時間が短いため、翌日振り返りを行い、該当者が次回利用されるまでに改善出来るように努めています。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	・保護者様に公開しているため、記録の記載例を職員に周知徹底しています。日頃から利用者様の長所を伸ばせるような支援を意識して取り組んでいます。	・ミーティングで支援の検証や改善を協議しています。決定した内容を、議事録に記載し、全職員に周知しています。 ・伝わりにくい内容は、口頭でも説明をし、支援が統一出来るようにしていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	・半年に一回以上見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	7		・バランスよく活動を提供し支援出来るようにしています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8		・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8		・学校により偏りがみられていますが、学校ホームページや送迎時に確認をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3		・受け入れを行っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2		・今後は、アセスメントを行いながら情報共有出来るように努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	4		・必要があれば、情報提供します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	3		・研修を受ける機会があれば積極的に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	7		・集団参加が難しい利用者様が多いことから現在は検討していませんが、今後機会や要望があれば、検討していきたいと思えます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3		・参考になる会議があれば、積極的に参加したいと思えます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8		・記録を公開していたり、送迎時に家族の方と面談を行いながら、状況や課題を把握するようにしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8		・月1回土曜日に家族会で保護者様にはペアトレを開催しています。同時に利用者様に少人数でしか出来ないような活動を提供しています。	・気軽に参加出来る雰囲気作りや保護者様同士の交流の場を積極的に設けるために、来年度も企画を検討しているところです。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	・新規利用される際や変更の都度、説明を行っています。また、個別で質問があった際も丁寧な説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8		・個別で相談の場を設けたり、家族会で悩み相談を行ったり、支援会議で統一した支援が行えるように確認し合っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	2	・月1回家族会を開催しています。	・企画はしていますが、連携までに至っていません。希望されない保護者様もおられることから、保護者様の要望があれば積極的に支援していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	2	・苦情がありましたら、適切に対応出来るように整備しています。	・定期的にアンケート調査を行い、保護者様のご意見・ご要望をお聞きする機会を設けます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		・月1回すだちだよりを発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	7	1	・十分に配慮しています。	・関係者間で連携をとる際は、保護者様に確認を取りながら情報共有するようにしています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8		・口頭でのやり取りや視覚支援を使用しています。・文書やメール、口頭で丁寧に説明を行っています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2	・年に1回地域交流を行い、ふれあいの機会を設けています。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	2		・策定したマニュアルは、定期的に職員や保護者様に周知していきます。

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	・集団活動を通じて訓練しています。	・今後は災害別に具体的に避難の仕方を練習していく予定です。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2	・年二回、所内研修を行っています。また、外部研修にも積極的に参加しています。	・事例検討をしながら、全職員が適切な支援を行えるように徹底します。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	1	・個別支援計画に記載し、説明を行っています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		・医師の指示に基づき対応する利用者様は現在いません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	3	・周知しやすいように、連絡会議事録や回覧板と一緒にいつでも閲覧可能にしています。	・ヒヤリハット報告書の書式を短時間で記入できる書式に変更しています。対応策は、職員間で統一した支援になるように、連絡会議事録にも記載し、徹底しています。